

空き家活用促進

問 県条例による空き家等活用促進特別区域の指定の現在の状況は。

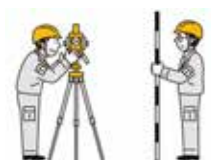
答 令和5年9月12日付で、宇仁地区が兵庫県条例に基づく空き家等活用促進特別区域に指定されています。今後は過去に調査した空き家のデータを活用し、空き家の登録を促したいと考えます。



地籍調査

問 地籍調査の進捗状況は。

答 調査済は35地区、進捗率37.01%です。待機地区が60地区ありますが、国の補助総額に対して全国の自治体が殺到しており、要求の7割程度しか交付されない状況です。1地区完了に5年程度を要し、年2地区ずつ取り組んでいます。常時10地区程度を抱えており、人員数を見ながら、調査地区に隣接する地区も一緒に実施するなど要望に応えたいと考えます。



太陽光発電施設

問 太陽光発電施設が増加し、山の斜面にも乱立している現状に対する対策は。

答 ゾーニングにより環境保全エリアと抑制エリアを設定し、自然環境に配慮するよう調整を行っています。さらに、既存の太陽光発電施設も含め、事業者に対する規制や維持管理の方法等について条例化を検討しています。



討 論

賛成

・子育て、教育、起業創業、観光、脱炭素などのSDGs、移住定住、ふるさと納税など、各分野において目的に向けて着々と取り組まれている。時代に先駆け、これまで加西市になかった可能性にも果敢に挑戦され、積み重ねてきた努力が地域内外の方々に評価され、効果も出てきている。(本会議)

反対

・道の駅基本構想は、費用対効果を度外視した、あまりにも抽象的な提案であり、加西市の将来に大きな負担を強いることになる。(本会議)
・観光イベント、移住施策、若者施策、配慮に欠ける無料化、未来型児童館構想、播磨国風土記など多くの事業に対し、集客はもちろん、行政効果や経済効果などが出ていると思えない。(本会議)

議決結果

賛成10、反対4の賛成多数で原案認定

総事業収支は
約9億1,000万円の純利益

議案第61号 令和4年度加西市病院事業
会計の決算認定について

質 疑

問 診療材料費や経費の減少理由は。

答 コロナ禍で手術件数が減少したことに加え、内科医の減によるカテーテル手術の減少、及び外科や整形外科の手術数の減少により診療材料費が下がっています。また、収支が全体的に縮小傾向にあり、経費についても減少しています。

問 入院単価におけるコロナ加算の額は。

答 令和4年度の一人一日当たりの入院単価は約4万7千円です。そのうち、平均して2千円程度がコロナ加算となっています。

問 令和4年度末に医師8名が退職されたが、医師の適正配置についてどのように考えているか。

答 136床へ向かう過程において、医師数を減らさなければならぬと考えています。加西病院は内科、外科及び整形外科を中心とした体制のため、内科医と外科医の減少は診療に影響があり、現在募集していますが、上記の3科については十分な医師数の確保が必要と考えています。ただ、北播磨医療圏域の中で必要な医療を提供することができる状況であると認識しています。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案認定

